

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校国語】

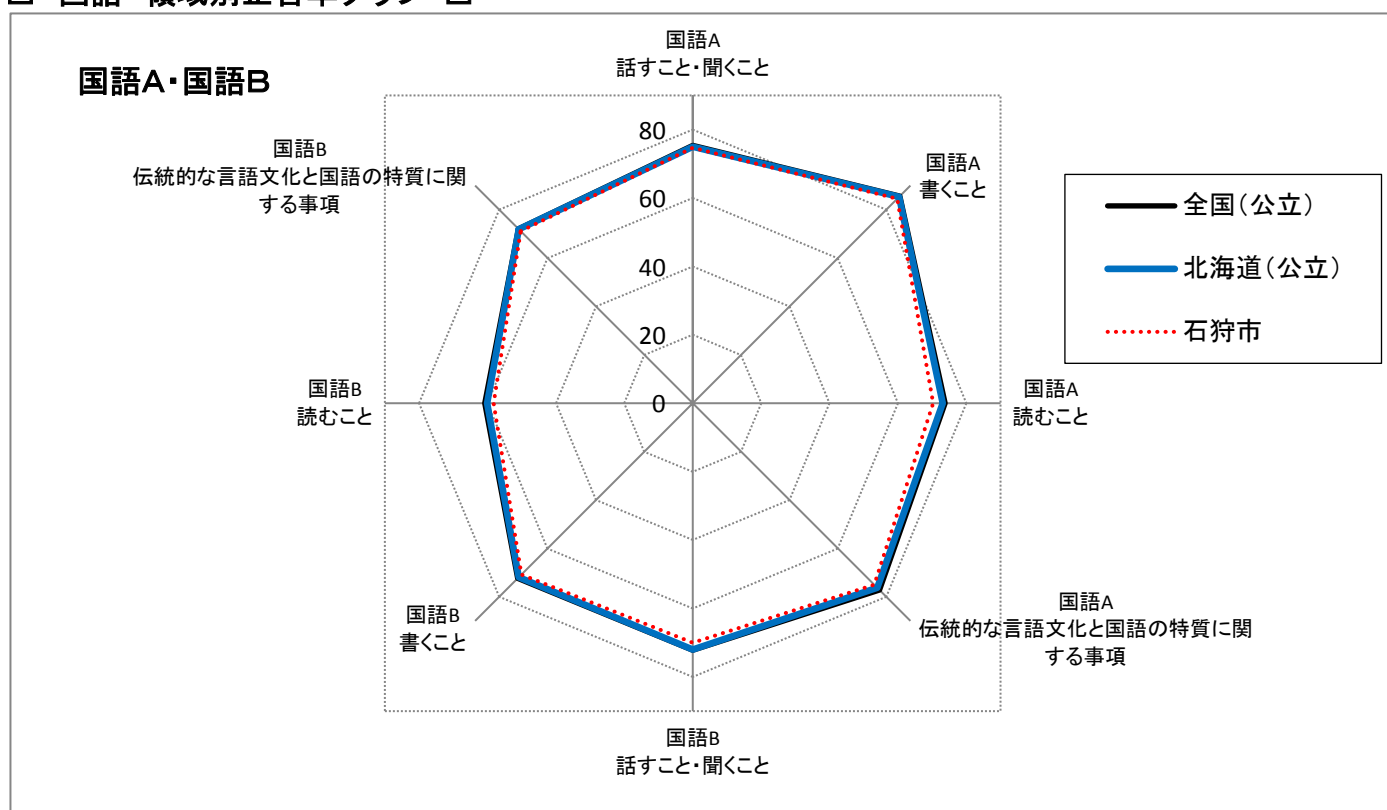
□ 正答率の状況 □

	国語A(主として「知識」に関する問題)		国語B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	24.8問/32問	77.4%	6.5問/9問	72.2%
全道(公立)	24.5問/32問	76.7%	6.5問/9問	71.7%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆					☆	○								☆	○		

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域別正答率グラフ □



□ 国語科の概要 □

- ◇ 国語Aは全道・全国とほぼ同様(下位)の結果となりました。また、昨年度と比較し正答率が上がるとともに全道・全国との差が縮まりました。
- ◇ 国語Bについても国語Aと同様に全道・全国平均とほぼ同様(下位)の結果となり、昨年度と比較し正答率が上がるとともに全道・全国との差が縮まりました。
- ◇ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の中で、国語Aでは「読むこと」が全国よりやや低い結果でしたが、他の領域は全て、全道・全国と同様か、ほぼ同様(下位)となり差はほとんどありませんでした。
- ◇ 国語Bでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、全道と同様で、他の領域は全て、全道・全国平均とほぼ同様(下位)の結果となりました。
- ◇ 問題形式の正答率では、国語Aで選択式が全道・全国とほぼ同様(下位)、短答式が全道と同様で、全国とほぼ同様(下位)の結果となりました。
- ◇ 国語Bは選択式・短答式で全道・全国と同様(下位)で、記述式は全道よりやや高く、全国とほぼ同様(上位)の結果となりました。

国語 A (主として「知識」に関する問題)

基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題で構成されています。

- ・スピーチをより分かりやすくするためにイラストを掲示する箇所として適切なものを選択する。
- ・それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す。
- ・見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する。
- ・「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す(あやしう)。
- ・設問数は32問です。

【各領域の傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域は全道・全国と同様の傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は全道と同様で、全国とはほぼ同様(下位)の傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は全道とほぼ同様(下位)で、全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全道・全国とほぼ同様(下位)な傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2一	スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	話すこと 聞くこと	87.0%	85.9%	87.8%
3二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する	書いた文章についての助言を基に、自分の表現を見直す	書くこと	86.2%	83.9%	84.3%
8一	詩について説明したものとして適切なものを選択する	文章の表現の仕方について自分の考えをもつ	読むこと	83.1%	81.9%	81.9%
9二2	漢字を読む(鮮やかな色合い)	文脈に即して漢字を正しく読む	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	96.9%	93.9%	94.5%
9三ア	適切な語句を選択する(えりを正して話を聞く)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う		78.2%	74.9%	76.9%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
7二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	話すための材料を人との交流を通して集める	話すこと 聞くこと	78.8%	80.7%	80.4%
5一	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成を工夫して分かりやすく書く	書くこと	77.8%	79.7%	79.8%
6一	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	読むこと	65.6%	73.1%	74.8%
9三ウ	適切な敬語を選択する(先生もこの書店をよくご利用になるのですね)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.0%	82.7%	85.7%
9六1	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	楷書と行書との違いを理解する		32.1%	53.0%	49.6%

【指導の改善にあたって】

【話すこと・聞くこと】

話したり話し合ったりするための材料を集める際には、目的に応じて、様々な資料を有する学校図書館などの施設を利用するよう指導することが大切です。また、人との交流を通して材料を集める際には、目的を明確にした上で、誰に何を尋ねるかについて事前に検討するように指導することも重要です。

【書くこと】

伝えたい事柄や意見などを読み手に分かりやすく伝えるためには、伝えたい事柄や意見を明確にし、どのような順序で示すことが効果的であるかを考えながら書くように指導することが大切です。

【読むこと】

文学的な文章を読む際には、目的に応じて、時間的、空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読むように指導をする必要があります。そのために、各場面での登場人物の言動が文章全体に表れたものの見方にどのように関わっているかを考え、交流するなど文章の理解を深めるなどの学習活動が考えられます。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

書写の指導では、実際に文字を書く学習の中で、「楷書」と「行書」のそれぞれの特徴や「筆脈」など学習する際に用いる言葉について理解することができるように指導する必要があります。

国語 B（主として「活用」に関する問題）

基礎的・基本的な知識・技能を活用できるかどうかをみる問題で構成されています。

- ・ 比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く。
- ・ スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。
- ・ アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味を持ってもらえると考えた理由を書く。
- ・ 設問数は9問です。

【各領域の傾向】

- ・ 「話すこと・聞くこと」の領域は全道・全国とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・ 「書くこと」の領域は全道・全国とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・ 「読むこと」の領域は全道と同様で、全国とはほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全道・全国とほぼ同様（下位）な傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する	読むこと	86.0%	83.8%	84.1%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く	書くこと 読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	39.0%	40.7%	41.4%
3三	アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く	必要な情報を集めるための見通しをもつ	書くこと	64.7%	67.2%	68.8%

【指導の改善にあたって】

【書くこと・読むこと・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書くために、印象に残った場面や描写を取り上げ、その理由を具体的に説明する学習を進めます。また、新聞やインターネットの書評など身近な素材を用いて、自分の見方や考え方と対比させ、考えを広げたり、再構築したりする学習が効果的です。

【書くこと】

自ら課題を決めて文章を書く際には、目的や意図を明確にし、必要な情報を集めながら自分の考えをまとめるように指導する必要があることから、例えば、情報の集め方や効果的な提示の仕方などをグループで検討し、互いに話し合ったりする学習が効果的です。

【教科に関する意識（質問紙の傾向）】

- ・「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の 62.6%、全国の 60.5%に対して石狩市は57.3%で、全道に比べ 5.3ポイント、全国に比べて3.2ポイント低くなっています。
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の88.2%、全国の88.8%に対して石狩市は88.2%で、全道・全国と同様となっています。
- ・「国語の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の76.9%、全国の74.9% に対して石狩市は71.8%で、全道に比べ5.1ポイント、全国に比べ3.1ポイント低くなっています。
- ・「読書は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の74.0%、全国の69.9% に対して石狩市は69.3%で、全道に比べ4.7ポイント低く、全国に比べ0.6ポイント低くなっています。
- ・国語の授業中の質問に関して、「自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか」「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしていますか」の肯定的な回答が全国よりもやや低い結果となりました。
- ・「意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」「文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか」の肯定的な回答は、いずれも、全道・全国とほぼ同様となっています。

平成29年度 全国学力学習状況調査 結果分析

【中学校数学】

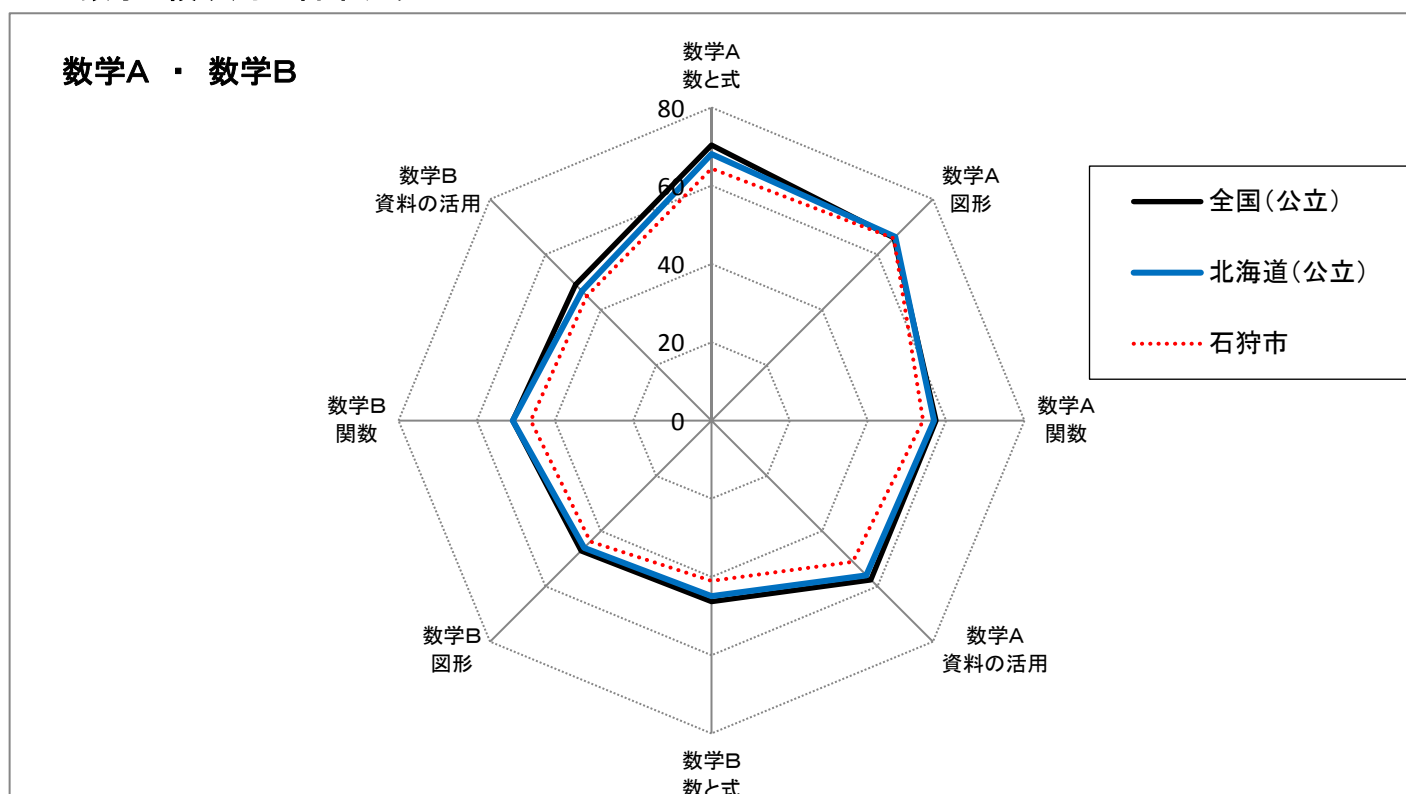
□ 正答率の状況 □

	数学A(主として「知識」に関する問題)		数学B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	23.3問/36問	64.6%	7.2問/15問	48.1%
全道(公立)	22.9問/36問	63.7%	7.0問/15問	46.9%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆					☆	○								☆	○		

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 数学 領域別正答率グラフ □



□ 数学科の概要 □

- ◇ 数学Aの平均正答率は、全道とほぼ同様（下位）で、全国よりやや低い結果となりましたが、昨年度より差が縮まりました。
- ◇ 数学Bの平均正答率は、数学Aと同様に全道とほぼ同様（下位）で、全国よりやや低い結果となりましたが、昨年度より差が縮まりました。
- ◇ 「数と式」「関数」「資料の活用」領域の中で、数学Aで「関数」が全道・全国と同様の結果でした。
- ◇ 数学Bでは「関数」「資料の活用」が、全道とほぼ同様（下位）で、他の領域は全道・全国よりやや低い、若しくは低い結果でした。
- ◇ 問題形式の正答率では、数学A・数学Bともに選択式は全道・全国とほぼ同様（下位）で、短答式は全道・全国よりやや低い結果でした。

数学 A (主として「知識」に関する問題)

基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる問題で構成されています。

- ・正の数と負の数とその計算, 文字式の計算をする。一元一次方程式や連立二元一次方程式を解く。
- ・平行移動した図形をかく。2直線に1直線が交わってできる角の位置について, 正しい記述を選ぶ。
- ・比例のグラフから式を求める。二元一次方程式の解を表すグラフを選ぶ。
- ・与えられた資料から相対度数を求める。確率について, 正しい記述を選ぶ。
- ・設問数は36問です。

【各領域の傾向】

- ・「数と式」の領域は, 全道よりやや低く, 全国より低い傾向を示しています。
- ・「図形」の領域は, 全道・全国と同様の傾向を示しています。
- ・「関数」の領域は, 全道とほぼ同様(下位)で, 全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「資料の活用」の領域は, 全道よりやや低く・全国より低い傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (4)	3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す	実生活の場面において, ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している	数と式	86.8%	87.6%	89.4%
4 (2)	$\triangle ABC$ を, 点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかく	平行移動した図形をかくことができる	図形	94.4%	90.6%	90.6%
11 (2)	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	与えられた一次関数の表において, 変化の割合の意味を理解している	関数	58.0%	58.0%	56.0%
15 (1)	さいころを投げるときに「同様に確からしい」ことについての正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味を理解している	資料の活用	73.7%	78.6%	78.0%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (3)	$10 - 6 \div (-2)$ を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において, 計算のきまりにしたがって計算できる	数と式	66.0%	70.2%	75.6%
4 (3)	半径が5cm, 中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める	扇形の弧の長さを求めることができる	図形	23.5%	31.4%	30.7%
9	長方形の縦の長さや面積の関係を, 「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	関数	18.1%	20.1%	20.6%
14 (1)	反復横とびの記録の範囲を求める	範囲の意味を理解している	資料の活用	18.7%	25.7%	28.6%

【無解答率の高い設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
10 (3)	反比例の表から比例定数を求める	与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している	関数	26.5%	21.8%	34.4%	21.8%	34.4%	20.8%

【指導の改善にあたって】

<p>【数と式】 正の数と負の数の範囲において、計算のきまりに従って確実に計算できるように指導することが大切です。例えば、誤りのある計算を示し、正しい計算の仕方を確認する方法が考えられます。</p> <p>【図形】 円形の紙を利用するなど、扇形を円の一部として捉え、弧の長さや面積がその中心角の大きさに比例することを確認する指導が大切です。</p> <p>【関数】 2つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見いだす活動を通して、「・・・は・・・の関数である」という形で表現できるよう指導することが大切です。</p> <p>【資料の活用】 範囲の意味を理解できるようにするためには、資料の散らばりの程度を捉える活動を行う際に、最大値から最小値を引いた値を求めた上で、資料の範囲の意味を理解できるように指導することが大切です。</p>
--

数学 B（主として「活用」に関する問題）

<p>基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題で構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 万華鏡の模様について図形間の関係を図形の移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明する。 六角形をn個作るのに必要なストローの本数を、$6+5(n-1)$という式で求めることができる理由を説明する。 与えられたデータを基に、貯水量が1500万m^3になるまでの日数を求める方法を説明する。 分布の形に着目して2つの度数分布多角形を比較し、運動時間が420分以上の女子の方が体力テストの合計点が高い傾向にあるといえることの原因を説明する。 <p>・設問数は15問です。</p>

【各領域の傾向】

- 「数と式」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- 「図形」の領域は、全道とほぼ同様（下位）で、全国よりやや低い傾向を示しています。
- 「関数」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- 「資料の活用」の領域は、全道とほぼ同様（下位）で、全国よりやや低い傾向を示しています。
- 無解答率が高い設問の多くは記述式問題形式で、全道・全国と同じ様な傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
4 (2)	$\angle BAD$ と $\angle CBE$ が 20° のとき、 $\angle BEA$ の大きさを求める	付加された条件の下で、図形の性質を用いることができる	図形	60.4%	58.0%	60.0%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2 (3)	六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を、 $6 + 5(n - 1)$ という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	数と式	6.8%	13.0%	14.5%
3 (3)	与えられた式から、 a の変域に対応する b の変域を求める	数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができる	関数	37.0%	47.0%	43.2%

【無解答率の高い設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
3 (2)	与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万 m^3 になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	関数	13.1%	43.3%	15.3%	37.3%	18.4%	33.4%

【指導の改善にあたって】

【数と式】

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにするためには、事柄の意味の事象に即して読み取るとともに、その根拠を明確にすることが大切です。そのためにも日ごろの授業において、説明の手順や方法を身に付けさせる取組を行います。

【関数】

問題解決において用いた式を事象に即して捉え直す活動を取り入れ、式を事象に即して解釈できるように指導することが大切です。その際に、変域を正しく求めることだけでなく、具体的な事象について、変域を使って表現することや変域を意識しながら事象を捉え説明することも大切です。

【教科に関する意識（質問紙の傾向）】

- ・「数学の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の53.2%、全国の55.4% に対して石狩市は、59.9%で全道より 6.7ポイント、全国より4.5ポイント高くなっています。
- ・「数学の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の79.5%、全国の81.1% に対して石狩市は75.4% で、全道より 4.1ポイント、全国より5.7ポイント低くなっています。
- ・「数学の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の68.9%、全国の69.4% に対して石狩市は70.9% と、全道より2.0ポイント、全国より1.5ポイント高くなっています。
- ・「数学ができるようになりたいと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の90.9%、全国の91.2% に対して石狩市は88.5% で、全道より2.4ポイント、全国より2.7ポイント低くなっています。
- ・「問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」の肯定的な回答は全道よりもやや高く、全国と比べ同様の結果でした。
- ・「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の肯定的な回答は、全道・全国より低い結果となりました。
- ・「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか」は全道・全国とほぼ同様の結果でした。